

第4表 かながきの例

可	不	可	不	可	不
あいまって	相俟って	くふう	工夫	(する)とき	(する)時
あえて	敢て	…くらい	位	どこ	何処
あたかも	恰も	ぐあい	具合, 工合	どの, どれ	何の
あと	後	ここ	此处, 茲, 爰	…ところ	何の, 処
あまりに	余りに	…こと	事	とても	迎も
当たる, 当てる	当る, 充る	ことさら	殊更	とりあえず	取敢えず
あらかじめ	予め	ことに	殊に	ともに	共に
あらゆる	凡, 総, 凡有	この, これ	此, 是, 之	ないし	乃至
ある	在る, 有る	ころ	頃	なお	尚, 猶
あるいは	或は	ごとく	如く	なかなか	仲々, 却々
あわせて	併せて	ごとに	毎に	ながら	乍ら
…(と)いう	…(と)言う, … (と)云う	ささえる	支える	なぜ	何故
いかん, いかなる	如何(なる),	さしあたり	差当り	など, ら	等, 杯
いかに	(に)	さしつつかえ	差支	ならびに	並びに
…(して)いく, ゆく	…(して)行く	さっそく	早速	なるべく	成可
いくぶん	幾分	さほど	左程	なるほど	成程
いずれ	何れ, 孰れ, いづれ	さまざま	様々	(し)にくい	…(し)難い
いたずらに	徒に	しきり	強いて	はいる	入る
…(して)いただく	…(して)頂く,	しかし	併し, 然し	はなはだ	甚だ
	藏く	しかしながら	然乍	ばかり	許り, 計
いたって……	至つて	しかも	然も, 而も	ひいて	延いて, 惹いて
いちいち	一々	しきりがって	頻りに	ひととおり	一通り
いちばん	一番	しだいに	従つて	ページ	頁
いつ	何時	しばしば	次第に	ほう(の), (する)	方(の), (する)
いっさい	一切	しばらく	屢々, 屢次	ほう	方
いっしょに	一諸に	しまう	暫く	ほかに	外に, 他に
いっせいに	一齊に	じきに	了, 終, 仕舞う	ほとんど	殆んど
いっそう	一層	十分に	直に	ほど	程
いったい	一体	…(し)すぎる	充分に	ほぼ	略々
いったん	一旦	すこぶる	…(し)過ぎる	まことに	誠に
いっばいに	一杯に	すなわち	頗る	まして	況して
いっぺんに	一偏に	すばやい	即ち, 則, 乃	ますます	益々
いまだ, まだ	未だ	すべて	素早い	また	又, 亦, 復
いよいよ	愈々	すみやかに	凡, 総, 全	まちがい	間違い
…(して)いる, おる	居る	する	速やかに	まで	迄
いろいろの	色々の	ずいぶん	為	まなす	佯看
いわゆる	所謂	ずつ	随分	みなす	做す
…(の)うち	…(の)中	ぜひ	宛	むしろ	寧ろ
…(し)うる	…(し)得る	そこ	是非	むずかしい, むつ	六ヶ敷い
うんぬん	云々	その, それ	其処	かしい	
おいて	於て	それぞれ	其, 夫	明りょう	明瞭
おおむね	概ね	…(し)たい	夫々	もし	若し
おおよそ	大凡, 大約	たいせつ	…(し)度い	もたらす	齎す
…(して)おく	…(して)置く	たいてい	大切	もちろん	勿論
おそい	遅い, 晩い	たいへん	大抵	もつ	有つて
おそらく	恐らく	たくさん	大要	もつて	専ら
おのおの	各々	ただ	沢山	もつぱら	下に, 許に
おのずから	自ら	ただし	唯, 只, 畜, 惟	もとより	元, 素, 固より
おもな	主なる	たちまち	但し	もはや	最早
おもむろに	徐に	たとえ	忽ち	…(し)やすい	…(し)易い
および	及び	たまたま	例え	やっかい	厄介
…(した)おり, …	…(した), (の)	ため	偶々, 会々	やはり	矢張り
(の)おり	折	だいぶん	為	やむをえず	不得已, 止
かえって	却て	だけ	大体	やや	稍
かかる, かくして	斯る, 斯して	だれ	丈分	ややもすれば	動もすれば
かかわらず	拘らず	だんだん	誰	ゆえに	故に
かたい	硬い	ちなみ	段々	ゆえん	所以
かつ	且	ちやうど	因みに	よい	好い, 良い
かつこう	恰好	ちよっと	丁度, 恰度	ようす	様子, 容子
かつて	曾て, 嘗て	ついて	一寸, 鳥渡	ように	様に
かつてに	勝手に	ついで	就て, 付いて	ようやく	漸く
かなり	可成	ついに	序	よく	克く, 能く
かねがね	兼々	つもり	遂に	よほど	余程
かねて	予て	ていねい	留り, 心算	よつて, よる	依, 由, 因, 拠
かまわない	構わない	とうてい	丁寧	りっぱ	立派
かりに	仮に	…(の)とおり	到底	わかる	分, 判, 解る
かわく	乾く	とかく, とにかく	…(の)通り	わが	我が, 吾が
きたす	来す	とき(の)	兎角	わざわざ	態々
きわめて	極めて		時(の)	わたって	亘つて, 渡つて